

第58回町村議会議長全国大会 高市早苗総務大臣祝辞

皆様、こんにちは。総務大臣の高市早苗でございます。本日は第58回町村議会議長全国大会のご盛会、誠におめでとうございます。全国各地で地方の振興のためにご尽力いただいている皆様方と一緒にできますこと、大変嬉しく、光栄に存じます。

今年は全国各地で気候変動による災害が発生しました。豪雪被害からはじまり、集中豪雨や広島土砂災害、御嶽山の噴火もありました。皆様方におかれでもご苦労が多かったと思います。総務省消防庁においては、消防資機材の充実や消防団員を増やしていく等、安全に安心して生活していけるよう、力を尽くしてまいります。

最近、地方の人口減少が著しく、最後は消滅するかもしれない町や村があるという悲観的な話も出ております。でも、これは今何も手を打たなかったらそうなるかもしれないという最悪のデータだと考えて、今なら間に合う、今しっかりと手を打っていく、そのために各省連携をしながら、また、省庁の壁を取り払いながら、一緒にやれることは一緒にやっっていこうという形で取り組んでまいります。一緒に地方を元気にしていきましょう。

私は地方の出身です。自分のふるさとに誇りを持っております。そこで暮らせる環境、学べる環境、働ける環境がしっかりある。そして、結婚をして、世帯を持って、子供を育てて、安心して親の介護ができる様々な環境の整備をしていかなければなりません。

地域で働ける場所、稼げる場所が無くてはならないことから、新しいプロジェクトがスタートし、ようやく実現に向けて、大きな一歩を踏み出しました。

例えば、それぞれの町村で空いている土地があると思います。ここに企業や店を誘致したいと考えたとき、総務省の地域の元気創造プラットフォームという地方自治体と共同運営している仕組みと経済産業省の海外企業情報を所有するジェトロ及び国内企業情報を所有する中小企業基盤整備機構が連携し、情報の共有・提供が出来る様になりました。今後、皆様方が総務省のポータルサイトに、土地の条件や広さ、周辺人口等の必要な情報を入力していただければ、ジェトロや中小企業基盤整備機構にその情報を提供し、立地してくれる企業をご提案させていただきます。また、地場産品やふるさと自慢のものを海外に輸出したいとき、全国に販路を拡大したいときにもご利用いただける様になります。

来年度に向けて、既に実施しているモデル事業になりますが、「ローカル10,000プロジェクト」や「分散型エネルギーインフラプロジェクト」を推進し、しっかりと交付税措置をして、継続的にやっていけるように頑張ります。

地方財政につきましては、平成26年度の地方財政計画の水準を決して下回らないように財源を確保します。また、ふるさと納税についても皆様方からご工夫をいただきまして、推進してまいります。今後、中小企業やベンチャー企業に配慮して、税財源の偏在性を解消していく形を整えていきますので、どうかご期待ください。

これから地方の素晴らしいパワーを発揮して、豊かで、元気で、安心して暮らせる地方づくり、それが日本全体の発展にもつながってまいりますので、引き続きご指導のほどお願いいたします。皆様方のご健康と益々のご活躍、お祈り申し上げます、ご挨拶といたします。お招き有難うございました。

平成 26 年 11 月 12 日

総務大臣 高 市 早 苗